

第 32 回情報処理センター等担当者技術研究会

共通機器部門 情報基盤機器管理班

中川 敦

1. はじめに

国立大学、公立大学等の情報系センター等に勤務する技術職員が集まる本研究会は、大学における情報システムおよびネットワーク基盤の管理・運用に関する問題点や解決策を議論、共有することができる数少ない機会である。新しい技術を習得し、業務に取り入れ業務の効率化を図るとともに、他大学等の技術職員との繋がりを作るため、本研究会に参加し、今後の研究会運営について討議する運用連絡会議にも参加した。

2. 期間・場所

期間：令和 3 年 9 月 17 日

場所：遠隔会議にて実施（国立情報学研究所のサイバー大講堂(Cisco Webex)）

3. 参加者等

国立大学、公立大学等より 90 名程度が参加した。

4. 研修内容

全国の大学等の情報センター系の技術担当者が集まり情報交換を行う場である。今回は初のオンライン開催となり、ポスター発表は無かったものの 7 件の現状報告があった。

5. まとめと感想

運用連絡会では、技術研究会を開催するにあたって費用が発生する場合にどのような補助を得ることができるか、また次回開催校の決め方について話し合いが行われた。

技術研究会では、ネットワーク更新やシステム更新に関する発表やテレワークのための PC 環境に関する発表等があった。当日はテレワークをしており自宅からの参加となったが、今回遠隔会議ツールとして使用された Cisco Webex は一定以上の PC 性能とネットワーク回線速度がないと他の参加者のカメラ映像が表示されないようで、発表映像が見えないままの参加となってしまい、なかなか内容を理解するのに厳しいものがあったが、セキュリティ自己点検の未実施者はアカウントの機能を一部停止する取り組みの発表は本学でも類似の取り組みを行っており、問題の回避方法など大変興味深かった。今回得られた知見を今後役立てていきたい。